

現代の尼崎の歴史は？

現代は終戦後（1946）～現在の期間を指します。尼崎市立地域研究史料館の「図説尼崎の歴史」には年表で次のようにまとめられています。敗戦の焼け跡から復興をめざして、皆はがんばります。所得倍增計画や高度経済成長を経て、尼崎も著しく発展します。2016年尼崎市は市制100周年を迎えました。※「市制100周年」については、本校で年表に追加しました。

日本史の時代区分



1946 (昭和21)	4・16 日本労働組合総同盟尼崎地方協議会結成。昭和22年には産別尼崎地区会議、24年には尼崎全労協結成。 11・3 日本国憲法公布、翌昭和22年施行。
1947 (昭和22)	3・1 尼崎市と園田村が合併。 4・5 初代公選市長として六島誠之助が当選。
1948 (昭和23)	この年、阪神朝鮮人学校事件。尼崎市では翌昭和24年以降、市長の責任において朝鮮人分校を設置。
1950 (昭和25)	9・3 ジェーン台風襲来。 この頃、レッド・ページ実施。尼崎市警察問題紛糾。
1952 (昭和27)	9・14 尼崎競走場で第1回市営ボートレース開催。 10・16 日本労働組合総評議会尼崎地方評議会結成。
1954 (昭和29)	4・20 防潮堤開門の開通式が行なわれた。 8・1 尼崎市の市外局番が大阪と同じ06となった。
1959 (昭和34)	4・7 尼崎市とドイツ・アウクスブルグ市の姉妹都市提携調印記念式典が行なわれた。
1960 (昭和35)	この年、安保闘争。 6・4 安保阻止統一行動総決起大会を大物公園で開催。
1962 (昭和37)	10・8 東七松町に村野藤吾設計の市役所新庁舎落成。旧庁舎（旧尼崎尋常高等小校舎）から移転し15日開庁。
1963 (昭和38)	7・15 名神高速道路尾浜・栗東（滋賀県）間が日本初の高速道路として開通。翌昭和39年、西宮・尾浜間開通。 この年、兵庫県下の第二阪神国道（国道43号）開通。
1965 (昭和40)	9・28 田能の工業用水道配水場工事現場で大量の弥生式土器発見、翌年9月にかけて発掘調査が行なわれた。昭和44年に国史跡に指定され、45年に市立田能資料館が開館。
1969 (昭和44)	この年、兵庫県と尼崎市は市内62社（69工場）、3企業団地（55工場）との間に第一次公害防止協定締結。

現代

1970 (昭和45)	10・1 市人口が55万人を越え最高となる（国勢調査）。 12・1 尼崎市は国の公害病救済地域に指定された。
1972 (昭和47)	8・3 43号線公害対策尼崎連合会、阪神高速道路建設工事に反対して武庫川町の工事現場で座り込みを開始。
1973 (昭和48)	この年、石油危機。11月には、尼崎市内のスーパーなどにトイレットペーパーを求めて主婦らが殺到した。
1978 (昭和53)	7・7 塚口南再開発事業により阪急塚口駅の南側に商業施設・住宅などからなる「さんさんタウン」が開業した。
1981 (昭和56)	6・27 阪神高速道路大阪西宮線開通。
1983 (昭和58)	2・2 尼崎市と中国鞍山市との友好都市提携調印式が行なわれた。
1984 (昭和59)	1・31 国鉄福知山線の支線である尼崎港線（塚口・尼崎港駅間）の貨物取扱が廃止され、同線は廃線となった。
1985 (昭和60)	8・尼の生揚げ醤油の生産が約40年ぶりに復活した。 9・27 グンゼ塚口工場跡に商業施設「つかしん」開店。
1987 (昭和62)	9・28 神戸製鋼尼崎製鉄所の第一高炉休止。これにより元尼崎製鋼・尼崎製鉄の製鉄施設稼働が完全に終了した。
1990 (平成2)	3・18 神田北通のスーパー長崎屋尼崎店で大火災発生。 4・4月1日付の市推計人口が50万人を下回る。
1992 (平成4)	9・30 市議会議員の不正出張が発覚し、出張旅費問題として紛糾。翌平成5年5月25日、市議会自主解散。
1993 (平成5)	9・4 連合尼崎結成。これにともない総評尼崎地方評議会解散。翌平成6年5月18日には尼崎地区同盟も解散。
1994 (平成6)	4・2 阪神高速湾岸線開通。
1995 (平成7)	1・17 阪神・淡路大震災発生。市は4月27日に震災復興基本計画を策定、6月30日には災害復興計画を策定。
1997 (平成9)	3・8 JR東西線（尼崎・京橋間）が開通。尼崎駅は全新快速・快速の停車駅となった。
1999 (平成11)	3・19 震災被災者の応急仮設住宅が完全に解消された。
2005 (平成17)	4・25 JR福知山線の塚口・尼崎駅間で脱線事故発生。死者107人の大惨事となった。 この年、クボタ旧神崎工場が石綿（アスベスト）による健康被害を発表し、石綿被害が全国的な社会問題となった。
2006 (平成18)	5・ 「尼崎21世紀の森構想」の一環として兵庫県が整備した「尼崎スポーツの森」（扇町）開設。 この年、尼崎市は市制90周年を迎えた。
2016（平成28）	この年、尼崎市は市制100周年を迎えた。